

ELECOM

室内・家庭用

ホットラポット
Hot à la Pot

多機能調理なべ
HAC-HEP01シリーズ

取扱説明書



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお
使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところ
に保管してください。

日本国内専用です
For use in Japan only.

もくじ

安全上のご注意	3
使用上のお願い	9
各部の名前	10
モードについて	11
使いかた	12
煮るモード	12
煮込むモード	14
蒸すモード	16
炊飯モード	17
めんモード	19
低温モード	20
予約して調理を開始する（煮込むモード、炊飯モード）	22
火力を調節する（煮るモード、蒸すモード、めんモード）	22
お手入れ	23
故障かなと思ったら	24
トラブルと対処方法	24
エラーと対処方法	25
仕様	26
ユーザーサポートについて	26
保証規定	27

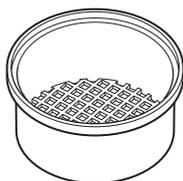
パッケージ内容

本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。

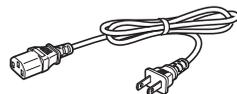


本体：1台

ふた：1個



蒸し皿：1個



電源コード：1本



取扱説明書：1冊

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、かならずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

●図記号の意味

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因になります。			
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。			
 一般的な注意事項	 水ぬれ禁止	 接触禁止	 指示を守る	 高温危険
 一般的な禁止事項	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 プラグを抜く	



「注意していただきたいこと」を記載しています。



「お願いしたいこと」や「参考にしていただきたいこと」を記載しています。

警告

●電源について

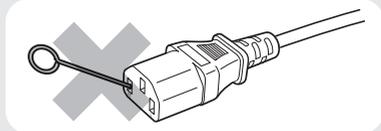
-  **電源は AC100V、コンセントや配線器具は単独で使用する**
他の機器と併用すると、過熱による火災や感電の原因になります。
-  **配線器具を使用する場合は、配線器具の取扱説明書をよく読み正しく使う**
配線器具に発熱や発煙が見られた場合は、すぐにコンセントから抜き、使用を中止してください。
-  **電源プラグや電源コネクタのごみやホコリを乾いた布などで拭き取る**
電源プラグや電源コネクタにごみやホコリが付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってください。ショートによる火災や感電の原因になります。
-  **電源プラグは AC コンセントの奥まで確実に挿し込む**
ショートによる火災や感電の原因になります。
-  **使用後、お手入れや点検、移動のときは、かならず電源を切り、電源プラグを AC コンセントから抜く**
火災、感電、やけどの原因になります。
-  **コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない**
たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
-  **電源プラグや電源コネクタを乳幼児に誤ってなめさせない**
感電やケガの原因になります。
-  **電源コードを次のように扱わない**
束ねて使用する、傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込む、高温部に近づける
電源コードが過熱して、火災、感電、やけどの原因になります。

 **警告**

● **電源について (つづき)**

 電源コード、電源プラグや電源コネクタが傷んでいるときや、ACコンセントへの挿し込みがゆるいときは、本製品を使用しない破損したまま使用すると、ショートによる火災や感電の原因になります。破損したときは、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後で、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

 電源コネクタにピンやクリップなどの金属を入れない
ショートによる発熱、発火や感電の原因になります。



 めれた手で電源プラグや電源コネクタを抜き挿ししない
感電、やけど、ケガの原因になります。

● **取り扱いについて**

 次のようなときは、異常や故障のため、すぐに使用を中止する

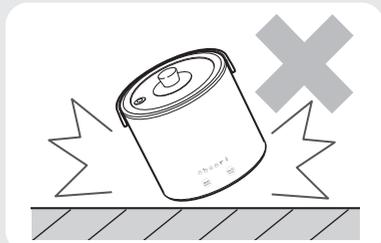
- ・異臭や異常な音がする
- ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる
- ・電源コードを動かすと、時々電源が切れる

- ・使用中に時々電源が切れる
- ・本体に触れるとピリピリする
- ・本体にひびが入った、または割れた火災、感電、ケガの原因になります。異常や故障のときは、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後で、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

 お子様だけで使用させない、乳幼児の手が届くところで使用しない
感電、やけど、ケガの原因になります。

 分解、修理、改造をしない
火災、感電、ケガ、故障の原因になります。故障したときは、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後で、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。故障時の保証の対象外となります。

 落としたりなど、強い衝撃を与えない
ひびが入ったり、割れたりすると、感電、火災、ケガの原因になります。




警告
●取り扱いについて(つづき)

-  取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない
火災、感電、ケガの原因になります。

-  蒸気口、穴やすき間に、ピンや針金、フォークなどの金属物、異物や指を入れない
火災、ケガの原因になります。


●使用場所について

-  ・壁や家具などの近くで使わない
・キッチン収納棚などで使うときは、熱や蒸気が中でこもらないようにする
故障の原因になります。また、熱や蒸気が滞留し、壁や家具の破損、変色、変形の原因になります。

-  ・蒸気口、穴やすき間をふさがない
・蒸気口付近に手や顔などを近づけない
本体内部の温度が上昇し、火災ややけどの原因になります。



-  ・本体を直火(ガス台など)、電磁調理器(IHクッキングヒーター)、電気ヒーターなどの上に載せない
・燃えやすいものや熱に弱いものの周辺で使用しない
火災の原因になります。

-  水回りなどの水のかかるところで使用しない
漏電やショートによる火災や感電の原因になります。

-  屋外で使用しない
雨水のかかる場所で使用すると、漏電、感電の原因になります。

●調理について

-  調理後に持ち運ぶときは、本体取っ手を持つ
やけど、ケガの原因となります。

-  揚げ物、焼き物、炒め物をしない
油を入れると高温となり、破損、故障の原因になります。

-  具材の多い汁物やカレーなど粘度の高い食材を温めるときは、時々かき混ぜる
急に沸騰して飛び散り、やけどやケガの原因になります。

-  調理中は無理にふたを開けない、移動させない
やけどやケガの原因になります。

 警告

●調理について(つづき)

-  ふたの内側から蒸気口をふさがれない

ポリ袋に入ったままの食材を入れたり、落としぶたを使用したりすると、蒸気口がふさがれ、過熱による火災の原因になります。

-  満水目盛以上の水や具材を入れない

中身がふきこぼれて、やけど、ケガ、感電の原因になります。



●お手入れについて

-  液体を捨てる時は冷めてからおこなう

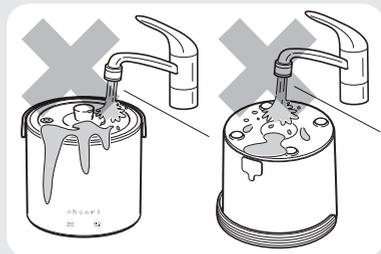
やけどの原因となります。

-  お手入れに食器洗い乾燥機は使用しない

漏電やショートによる火災や感電、故障の原因になります。

-  本体の外側や底面、本体取っ手、電源差込部、電源コードに水を掛けない、本体の丸洗いをしない

漏電やショートによる火災や感電の原因になります。




注意

●電源について



電源プラグを抜くときは、かならず電源プラグを持って引き抜く
電源コードを持って引っ張ると電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。



長時間使用しないときは、電源プラグを抜く
漏電や絶縁低下による火災や感電の原因になります。



付属の電源コード以外は使用しない、付属の電源コードを他の機器に使用しない
火災や故障の原因になります。

●取り扱いについて



調理以外の用途には使用しない
過熱や異常動作による火災ややけどの原因になります。



家庭用以外の用途に使用しない
本製品は家庭用として設計されています。業務用など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。



付属の蒸し皿を他の直火（ガス台など）、電磁調理器（IHクッキングヒーター）、電気ヒーター、電子レンジやオーブンなどで使用しない
破損して、やけどやケガ、周囲の物の破損の原因になります。

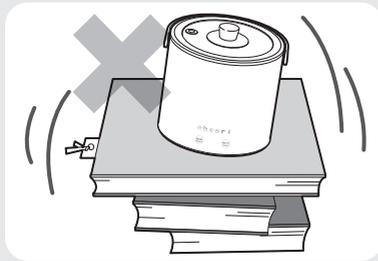
●使用場所について



不安定な場所、滑りやすい場所で使用しない
本体の落下などによるやけどやケガの原因になります。



直射日光の当たるところで使用しない
変色の原因になります。



⚠ 注意

●調理について

❗ 水やだし汁を沸かすときは、ふきこぼれに十分気を付ける

漏電やショートによる火災や感電、やけど、故障の原因となります。

⊘ 付属の蒸し皿以外使用しない
過熱や異常動作の原因になります。

⊘ 空だきしない、加熱し過ぎない
火災ややけど、本体および蒸し皿の破損の原因になります。

⊘ 衝撃、急な温度変化を与えない
破損によるケガの原因になります。

⊘ 適正容量以上で使用しない
中身がこぼれて、やけどやケガの原因になります。

⊘ 電源コードを引っ掛けない
やけどやケガ、故障の原因になります。

⊘ 使用中や使用後しばらくは、高温部に触れない
やけどの原因になります。

⊘ 重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない
やけどやケガ、故障の原因になります。

⊘ ふた取っ手を持って移動しない
落下によるケガ、故障の原因になります。本体を移動する際は、本体取っ手を持って移動してください。

●お手入れについて

❗ お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、本体から電源コードを取り外して電源カバーをしっかりと閉めてからおこなう
漏電やショートによる火災や感電の原因になります。

⊘ 缶詰や瓶詰などを直接加熱しない
破裂や赤熱して、やけどやケガの原因になります。

⊘ 市販のタイマー機器を接続して使用しない
故障の原因になります。

⊘ 本体取っ手、ふた取っ手にガタつきがある場合は使用しない
やけどやケガの原因になります。

⚠ 沸騰中、蒸気口に手や顔、水気に弱いものを近づけない
蒸気口の付近は蒸気やお湯が飛び散ることがあり、ケガ、やけど、故障の原因になります。



⚠ ふたを開けるときの、蒸気や熱い水滴に注意する
蒸気によるやけどの原因になります。

❗ お手入れは冷えてからおこなう
高温部に触れ、やけどの原因になります。

使用上のお願い

●本体について

- 他の電磁調理器（IH クッキングヒーター）の上で使用しない
誤動作や故障の原因になります。
- 外周に物をぶつけない
破損の原因になります。

●調理前について

- ふたの蒸気口が詰まっていないことを確認してから使用する
ケガ、やけど、故障の原因になります。

●調理中・調理後について

- 満水目盛以上に、水や具材を入れて使わない
ケガ、やけどの原因になります。
- 本体に水や具材を入れる場合、本体を水で濡らさない
ケガ、やけど、故障の原因になります。
- 調理中に水や材料を追加する場合、ふきこぼれないようにする
ケガ、やけど、故障の原因になります。米、パスタなどのデンプンや牛乳、肉類などの脂質により、ふきこぼれが発生することがあります。
- 重曹などの熱に反応して発泡するものは使用しない
やけど、故障の原因になります。
- 空だきしない
変色、変形、火災、故障の原因になります。
- 本体内側のフッ素樹脂コーティングを傷つけないように、かき混ぜるはしやお玉は木製や樹脂製のものを使用する
- 調理中、本体にふきんなどをかけたままにしない
変色、変形、火災の原因になります。

- 調理中や調理の直後は、移動させない
ケガ、やけどの原因になります。
- 本体の中に調理物を長時間放置しない
本体やふたは食品の色素によって色移りすることがあります。色移りを防ぐため、本体やふたに付着した調理物はすぐに拭き取ってください。
- 調理後に電源コネクターを抜くときは、取っ手をしっかりおさえながら抜く
ケガ、やけどの原因になります。
- ご使用の都度、お手入れをする
- 本体の内側が熱い状態で水をかけるなど、急冷しない
フッ素樹脂コーティングのはがれや焦げつきの原因になります。

●使用場所について

- 壁や家具などの近くで使わない
- キッチン収納棚などで使うときは、熱や蒸気が中でこもらないようにする
故障の原因になります。また、熱や蒸気が滞留し、壁や家具の破損、変色、変形の原因になります。
- 水平で安定したところで使用する
- 風通しがよく、水などが掛からないところで使用する

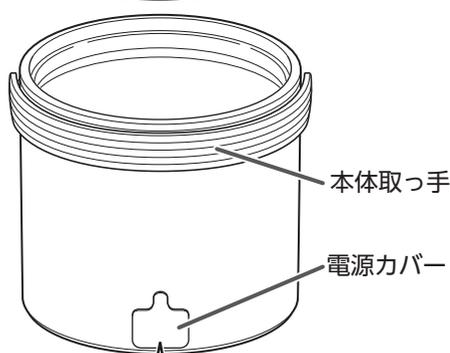
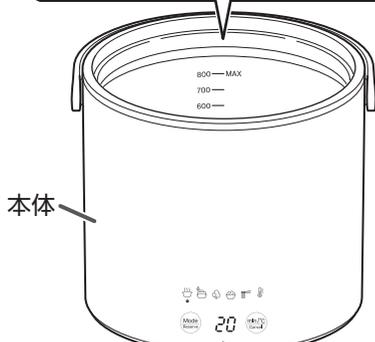
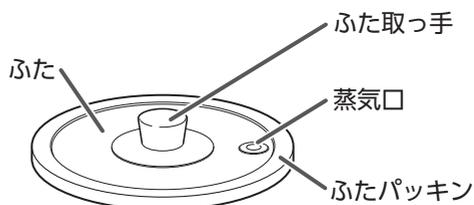
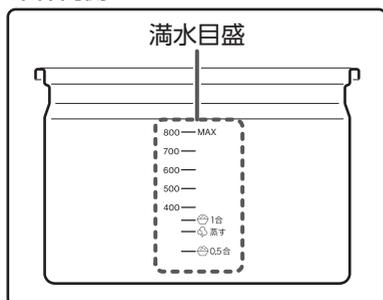
●廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めに従って処理してください。

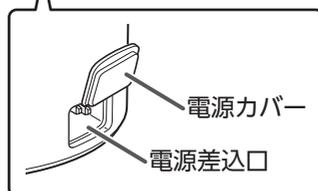
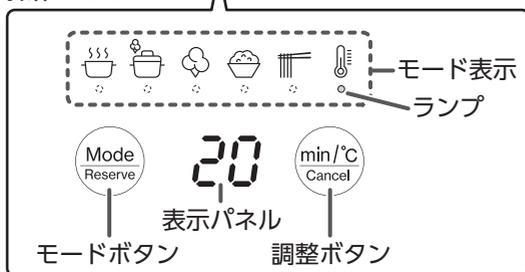
各部の名前

●本体

本体内側

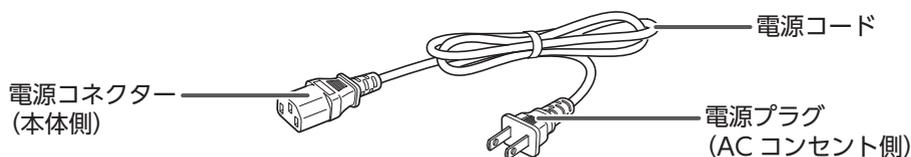


操作パネル



 初めて調理するときは、本体の内側、ふた、蒸し皿をかならず洗ってください。
ふたのフチのパッキンも一度取り外し、洗ってください。

●電源コード



モードについて

モードによる調理内容および動作の詳細は、次のとおりです。

モード	調理内容	調整範囲		保温	予約	ふたの使用
		時間	温度			
煮る 	ふたをせずにサッと煮る (スープなどの汁物)	5～60分 (5分単位)	—	60℃ 4時間	×	×
煮込む 	ふたをしてコトコト煮込む (カレーや煮物など)	10～180分 (10分単位)	—	60℃ 4時間	○	○
蒸す 	ふたをして蒸気で蒸し上げる (温野菜や点心などの蒸し料理)	5～20分 (1分単位)	—	—	×	○
炊飯 	1合までのお米を炊く (白米や炊き込みご飯)	38分 (固定)	—	50℃ 4時間	○	○
めん 	麺をゆでてスープと軽く 煮込む (うどんやラーメンなど)	1～10分 (1分単位)	—	60℃ 4時間	×	×
低温 	低温で食材に火をとおす (サラダチキンなどの低温料理)	10～180分 (10分単位)	40℃～80℃ (10℃単位)	—	×	○

使いかた



レシピは弊社のホームページに掲載しています。
こちらの URL または QR よりご覧ください。

<https://www.elecom.co.jp/r/s556>

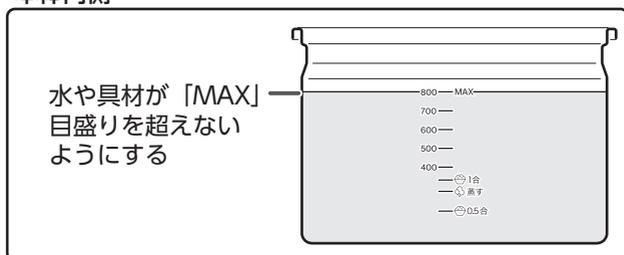


煮るモード

1 本体内側に水や具材を入れる

- ① 「Max」目盛りを超えないように入れる

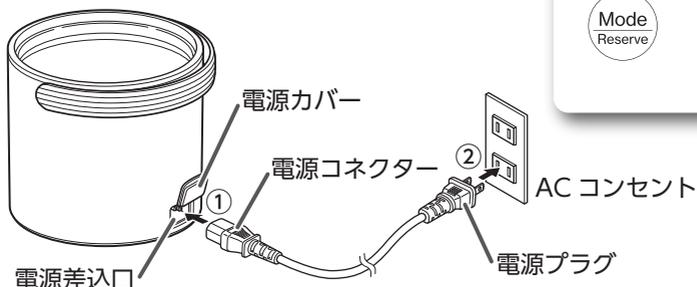
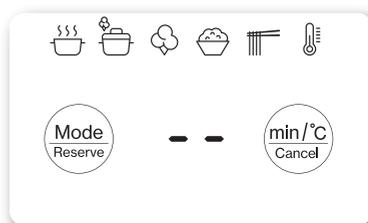
本体内側



2 電源コードを接続する

- ① 電源カバーを開け、電源コネクター（本体側）を電源差込口に取り付ける
- ② 電源プラグ（AC コンセント側）を AC コンセントに挿し込む
「ピッ」と起動音が鳴り、モード表示と表示パネルが約 2 秒間全点灯したあと、スタンバイ状態になります。

スタンバイ状態



電源プラグを AC コンセントに挿し込んで起動音が鳴らない場合は、電源コードを接続し直してください。

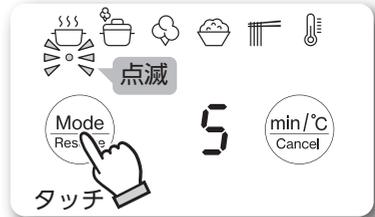
3 煮るモードを選択して調理を開始する



ふきこぼれの恐れがあるため、ふたを使用しないでください。

- ① モードボタンをタッチして、煮るモードに切り替える

モードボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、モードが切り替わります。選択されているモードのランプが点滅します。



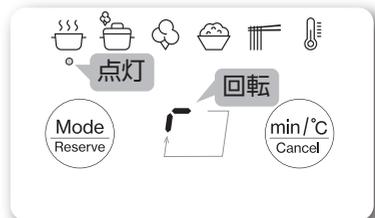
- ② 調整ボタンをタッチして、調理時間 (5 ~ 60 分、5 分単位) を設定する

調整ボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、調理時間が切り替わります。



- ③ 5 秒待つてモードを確定する

「ピッ」と開始音が鳴り、煮るモードのランプが点灯します。表示パネルが右回りに点灯し、加熱が開始されます。既定の温度に到達すると、残り時間が点灯します。



4 設定した時間に達すると、加熱が終了する

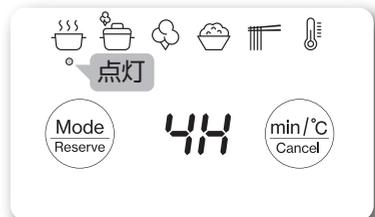


加熱および保温をキャンセルする場合は、調整ボタンを長押し (2 秒程度) します。「ピッ」とキャンセル音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴ります。

自動的に保温に切り替わり、表示パネルに保温の残り時間が点灯します。

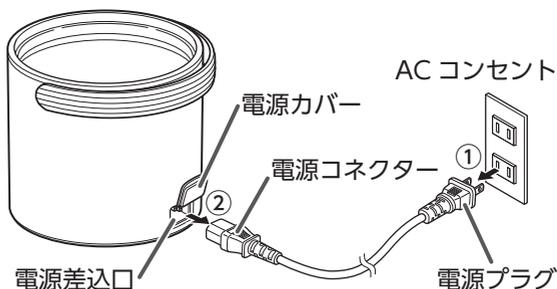
保温温度	保温時間
60℃	4 時間



保温時間が終了すると「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

5 電源コードを取り外す

- ① 電源プラグ (AC コンセント側) を AC コンセントから抜く
- ② 電源コネクター (本体側) を電源差込口から取り外す



6 お手入れする

詳細は、「お手入れ」(⇒ 23 ページ) を参照してください。

煮込むモード

1 本体内側に水や具材を入れる

詳細は、「煮るモード」の手順 1 (⇒ 12 ページ) を参照してください。

2 電源コードを接続する

詳細は、「煮るモード」の手順 2 (⇒ 12 ページ) を参照してください。



タイマー予約で調理を開始する場合は、予約モードを使用してください。
詳細は、「予約して調理を開始する (煮込むモード、炊飯モード)」(⇒ 22 ページ) を参照してください。

3 煮込むモードを選択して調理を開始する

ふたを使用する場合は、ふたをセットしてください。



注意



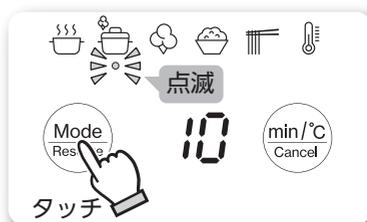
ふたの蒸気口に注意する

高温の蒸気が噴出することがあります。やけどの危険がありますので注意してください。



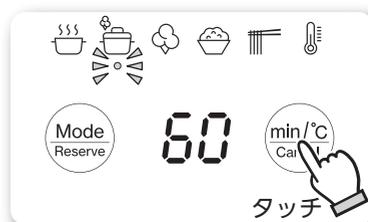
調理途中で無理にふたを開けないでください。

- ① モードボタンをタッチして、煮込むモードに切り替える
モードボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、モードが切り替わります。選択されているモードのランプが点滅します。



② 調整ボタンをタッチして、調理時間 (10～180分、10分単位) を設定する

調整ボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、調理時間が切り替わります。

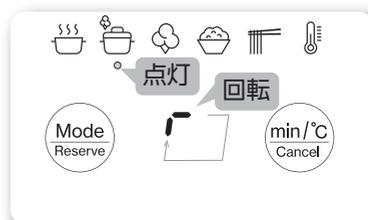


③ 5秒待つてモードを確定する

「ピッ」と開始音が鳴り、煮込むモードのランプが点灯します。

表示パネルが右回りに点灯し、加熱が開始されます。

既定の温度に到達すると、残り時間が点灯します。



4 設定した時間に達すると、加熱が終了する

 加熱および保温をキャンセルする場合は、調整ボタンを長押し (2秒程度) します。「ピッ」とキャンセル音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴ります。

自動的に保温に切り替わり、表示パネルに保温の残り時間が点灯します。

保温温度	保温時間
60°C	4時間

 保温時間が終了すると「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。



5 電源コードを取り外す

詳細は、「煮るモード」の手順 5 (⇒ 14 ページ) を参照してください。

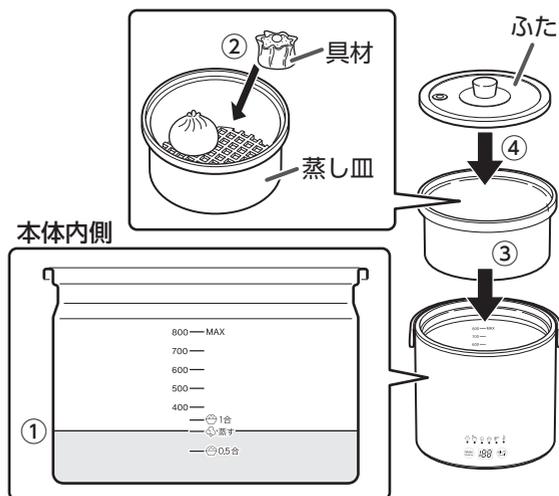
6 お手入れする

詳細は、「お手入れ」(⇒ 23 ページ) を参照してください。

蒸すモード

1 本体内側に水や具材を入れる

- ① 「蒸す」目盛りまで水を入れる
- ② 具材を蒸し皿に入れる
- ③ 蒸し皿を本体にセットする
- ④ ふたをセットする



2 電源コードを接続する

詳細は、「煮るモード」の手順 2 (➡ 12 ページ) を参照してください。

3 蒸すモードを選択して調理を開始する



注意



ふたの蒸気口に注意する

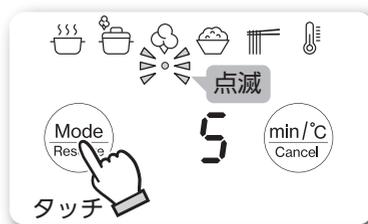
高温の蒸気が噴出することがあります。やけどの危険がありますので注意してください。



調理途中で無理にふたを開けないでください。

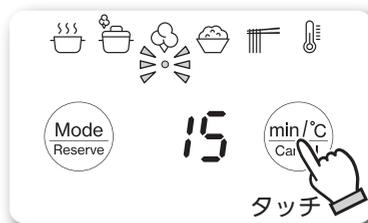
- ① モードボタンをタッチして、蒸すモードに切り替える

モードボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、モードが切り替わります。選択されているモードのランプが点滅します。



- ② 調整ボタンをタッチして、調理時間 (5 ~ 20分、1分単位) を設定する

調整ボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、調理時間が切り替わります。

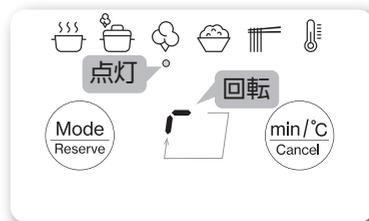


③ 5秒待ってモードを確定する

「ピッ」と開始音が鳴り、蒸すモードのランプが点灯します。

表示パネルが右回りに点灯し、加熱が開始されます。

既定の温度に到達すると、残り時間が点灯します。



4 設定した時間に達すると、加熱が終了する



加熱をキャンセルする場合は、調整ボタンを長押し (2秒程度) します。「ピッ」とキャンセル音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴り、スタンバイ状態に切り替わります。

5 電源コードを取り外す

詳細は、「煮るモード」の手順 5 (➡ 14 ページ) を参照してください。

6 お手入れする

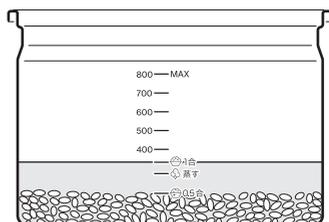
詳細は、「お手入れ」(➡ 23 ページ) を参照してください。

炊飯モード

1 本体内側に水や具材を入れる

- ① 炊飯量 (1合または 0.5合) を決め、お米を計量する
- ② お米を洗い、本体に入れる
- ③ 炊飯量に合わせて、「1合」または「0.5合」目盛りまで水を入れる
- ④ ふたをセットする

お米が 1 合の場合



2 電源コードを接続する

詳細は、「煮るモード」の手順 2 (➡ 12 ページ) を参照してください。



タイマー予約で調理を開始する場合は、予約モードを使用してください。

詳細は、「予約して調理を開始する (煮込むモード、炊飯モード)」(➡ 22 ページ) を参照してください。

3 炊飯モードを選択して調理を開始する



注意



ふたの蒸気口に注意する

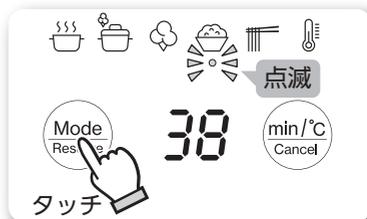
高温の蒸気が噴出することがあります。やけどの危険がありますので注意してください。



調理途中で無理にふたを開けないでください。

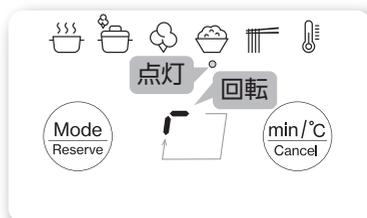
- ① モードボタンをタッチして、炊飯モードに切り替える

モードボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、モードが切り替わります。選択されているモードのランプが点滅します。調理時間は 38 分固定です。



- ② 5 秒待つてモードを確定する

「ピッ」と開始音が鳴り、炊飯モードのランプが点灯します。表示パネルが右回りに点灯し、加熱が開始されます。既定の温度に到達すると、残り時間が点灯します。



4 設定した時間に達すると、加熱が終了する



加熱および保温をキャンセルする場合は、調整ボタンを長押し（2 秒程度）します。「ピッ」とキャンセル音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴ります。自動的に保温に切り替わり、表示パネルに保温の残り時間が点灯します。

保温温度	保温時間
50°C	4 時間



保温時間が終了すると「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

5 電源コードを取り外す

詳細は、「煮るモード」の手順 5 (➡ 14 ページ) を参照してください。

6 お手入れする

詳細は、「お手入れ」(➡ 23 ページ) を参照してください。

めんモード

1 本体内側に水を入れる

詳細は、「煮るモード」の手順 1 (➡ 12 ページ) を参照してください。

2 電源コードを接続する

詳細は、「煮るモード」の手順 2 (➡ 12 ページ) を参照してください。

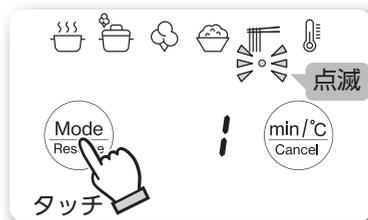
3 めんモードを選択して調理を開始する



ふきこぼれの恐れがあるため、ふたを使用しないでください。

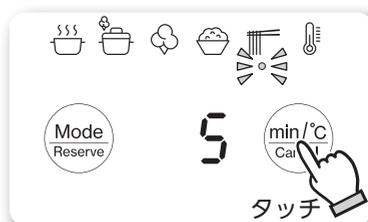
① モードボタンをタッチして、めんモードに切り替える

モードボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、モードが切り替わります。選択されているモードのランプが点滅します。



② 調整ボタンをタッチして、調理時間 (1 ~ 10 分、1 分単位) を設定する

調整ボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、調理時間が切り替わります。

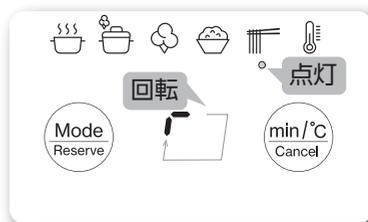


③ 5 秒待つてモードを確定する

「ピッ」と開始音が鳴り、めんモードのランプが点灯します。

表示パネルが右回りに点灯し、加熱が開始されます。

既定の温度に到達すると、「ピッ」と到達音が鳴り、残り時間が点滅します。

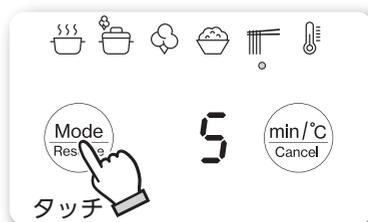


④ 麺や具材を入れてから、モードボタンをタッチして、タイマーを開始する

残り時間が点灯します。



- タイマー操作をしないと、1 分毎に「ピッ」と確認音が鳴ります。
- 5 分間タイマーを開始しないと、スタンバイ状態に戻り加熱を停止します。



4 設定した時間に達すると、加熱が終了する



加熱および保温をキャンセルする場合は、調整ボタンを長押し (2 秒程度) します。「ピッ」とキャンセル音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

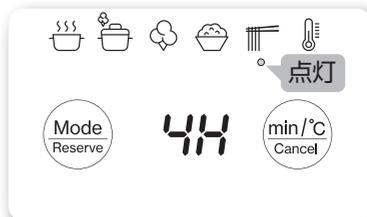
「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴ります。

自動的に保温に切り替わり、表示パネルに保温の残り時間が点灯します。

保温温度	保温時間
60℃	4 時間



保温時間が終了すると「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。



5 電源コードを取り外す

詳細は、「煮るモード」の手順 5 (➡ 14 ページ) を参照してください。

6 お手入れする

詳細は、「お手入れ」(➡ 23 ページ) を参照してください。

低温モード

1 本体内側に水や具材を入れる

詳細は、「煮るモード」の手順 1 (➡ 12 ページ) を参照してください。

2 電源コードを接続する

詳細は、「煮るモード」の手順 2 (➡ 12 ページ) を参照してください。

3 低温モードを選択して調理を開始する

ふたを使用する場合は、ふたをセットしてください。



注意



ふたの蒸気口に注意する

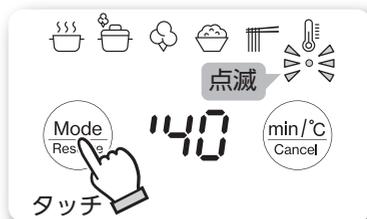
高温の蒸気が噴出することがあります。やけどの危険がありますので注意してください。



調理途中で無理にふたを開けないでください。

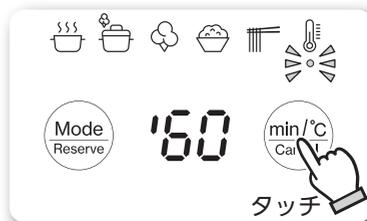
- ① モードボタンをタッチして、低温モードに切り替える

モードボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、モードが切り替わります。選択されているモードのランプが点滅します。



- ② 調整ボタンをタッチして、調理温度 (40 ~ 80°C、10°C単位) を設定する

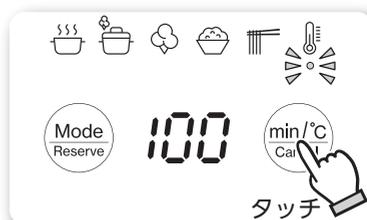
調整ボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、調理温度が切り替わります。



- ③ 3秒待つて調理温度を確定する

- ④ 調整ボタンをタッチして、調理時間 (10 ~ 180分、10分単位) を設定する

調整ボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、調理時間が切り替わります。



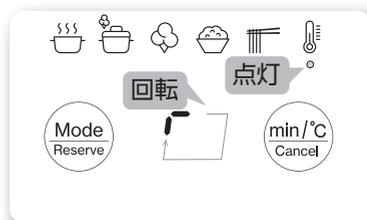
- ⑤ 5秒待つてモードを確定する

「ピッ」と開始音が鳴り、低温モードのランプが点灯します。

表示パネルが右回りに点灯し、加熱が開始されます。

設定温度に到達すると、残り時間が点灯します。

調整ボタンをタッチすると、温度表示に切り替わります。3秒後、残り時間表示に戻ります。



4 設定した時間に達すると、加熱が終了する



加熱をキャンセルする場合は、調整ボタンを長押し (2秒程度) します。「ピッ」とキャンセル音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

「ピッピッピッ、ピッピッピッ、ピッピッピッ」と終了音が鳴り、スタンバイ状態に切り替わります。

5 電源コードを取り外す

詳細は、「煮るモード」の手順 5 (➡ 14 ページ) を参照してください。

6 お手入れする

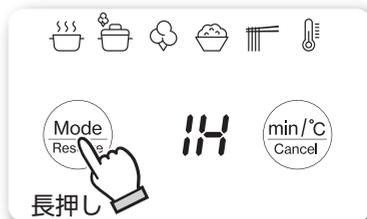
詳細は、「お手入れ」(➡ 23 ページ) を参照してください。

予約して調理を開始する (煮込むモード、炊飯モード)

煮込むモードおよび炊飯モードの場合は、調理開始時間をタイマー予約できます。

1 モードボタンを長押し (2 秒程度) して、予約モードに切り替える

「ピッ」と切替音が鳴り、予約モードになります。



2 調整ボタンをタッチして、調理開始の予約時間 (1 ~ 12 時間、1 時間単位) を設定する

調整ボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、予約時間が切り替わります。



3 5 秒待つて予約モードを確定する

煮込むモード、炊飯モードのランプが点灯します。モードボタンをタッチして、選択するモードに切り替えます。

各モードの詳細は、「煮込むモード」の手順 **3** (➡ 14 ページ)、または「炊飯モード」の手順 **3** (➡ 18 ページ) を参照してください。



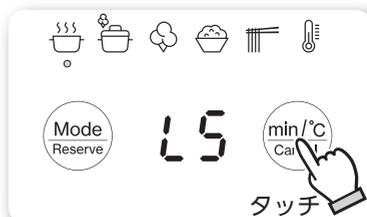
予約モードをキャンセルする場合は、調整ボタンを長押し (2 秒程度) します。「ピッ」とキャンセル音が鳴り、スタンバイ状態に戻ります。

火力を調節する (煮るモード、蒸すモード、めんモード)

煮るモード、蒸すモード、めんモードの場合は、加熱中に火力を調整できます。

1 調整ボタンをタッチして、火力 (L1 ~ L5、初期設定 : L3) を設定する

調整ボタンをタッチするたびに「ピッ」と切替音が鳴り、火力が切り替わります。



調整できるのは、残り時間が表示されてからになります。右回り点灯中は調整できません。

お手入れ

本体が冷めていることを確認し、電源コードを取り外して電源カバーをしっかりと閉めてから、お手入れを開始してください。



- 本体の丸洗いは絶対にしないでください。
- 酸性・アルカリ性の強い洗剤、薬品、漂白剤、研磨剤の入ったスポンジ、金属製のたわしなどは使用しないでください。
- 本体内側や蒸し皿にスプーンや食器類を入れないでください。
- 熱湯で洗ったり、食洗機や食器用乾燥機を使用したりしないでください。変形や破損の原因になります。
- 調理物を入れたままや、水に浸けたまま放置しないでください。腐食の原因になります。

● 本体内側のお手入れ

軽い汚れの場合（お茶やコーヒーなどを入れたあと）

やわらかい布や市販のキッチンペーパーを水またはぬるま湯に浸し、軽く絞ってから内側の汚れを拭き取ってください。汚れを拭き取ったあとは、十分に乾燥させてください。

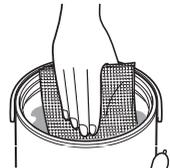


油汚れの場合（スープやシチューなどの調理後）



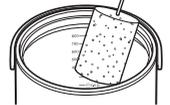
汚れがこびりついた場合、ぬるま湯にしばらくつけてから洗ってください。焦げつきなどを落とす場合にナイフなどを使用しないでください。

- ① 市販のキッチンペーパーなどで内側の汚れを拭き取ってください。
- ② 台所用中性洗剤をうすめた水またはぬるま湯を含ませたスポンジを使い、内側を洗ってください。洗ったあとは、内側を水でよくすすいでください。



水を勢いよく注ぐと、あふれる恐れがあるため、注意してください。

- ③ 乾いたやわらかい布で水分を十分に拭き取ってください。



● 本体外側のお手入れ

やわらかい布や市販のキッチンペーパーを水またはぬるま湯に浸し、かたく絞ってから外側を拭いてください。



● ふたのお手入れ

台所用中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジで洗い、水でよくすすぎ、乾いた布で水分を拭き取ってください。ふたのフチのパッキンは取り外しできません。軽く引っ張ってはしないでください。



故障かなと思ったら

トラブルと対処方法

状態	理由	対処方法
電源が入らない（スタンバイ状態にならない） モード表示、表示パネルが点灯しない モードボタン、調整ボタンが操作できない	電源プラグが AC コンセントに確実に挿し込まれていない	電源プラグを AC コンセントに奥まで確実に挿し込んでください。
	電源コネクタが電源差込口から外れている	電源コネクタを電源差込口に取り付けてください。
加熱中、保温中に電源が切れた	電源コネクタが電源差込口から外れている	電源コネクタを電源差込口に取り付けてください。
使用中にブレーカーが落ちた	使用できる電氣量を超過している	他の電化製品の電源を切るか、または他のブレーカーの AC コンセントに接続してください。
加熱中、保温中に音がする	「カチカチ」：音が鳴っている	温度制御のために、ヒーターが ON/OFF を繰り返すときの動作音です。故障ではありません。
	「ピチピチ」：音が鳴っている	熱で金属が収縮しているときの音です。故障ではありません。
	上記と異なる音がする	お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
電源を切っても温かい	電源コードを接続していると、本体内部で少量の電力が消費される	使用しないときは、電源コードを取り外してください。
電源プラグを挿し込むと、パチッと火花が出た	瞬間的な放電現象が発生した	電化製品でまれに発生する現象です。異常ではありません。
	電源プラグにごみやホコリが付着していた	電源プラグにごみやホコリが付着している場合は、拭き取ってください。
蒸気口やふたと本体のすき間から液体がふきこぼれる	ふたの内側、ふたのフチのパッキン、蒸気口、蒸し皿の外側などに調理物や汚れが付着している	調理物や汚れが付着している場合は、取り除いてください。
	本体の内側が変形している	お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
	満水目盛以上の水や具材を入れている	水や具材は満水目盛以下にしてください。
	デンプンや脂質を含む具材を入れている	米、パスタなどのデンプンや、牛乳、肉類などの脂質によりふきこぼれが発生することがあります。入れる量を減らすか、ふたを開けたまま調理してください。

状態	理由	対処方法
設定時間を経過しても動作が止まらない	加熱時間は経過時間に含まれません	設定時間は沸騰または設定温度に達してからの経過時間になります。故障ではありません。

それでも解決できないときは、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

エラーと対処方法

エラーコード	内容	表示パネル	ブザー	対処方法
E1	内部機器の故障	点灯	ピピピピピッを繰り返す	すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後で、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
E2	内部機器の故障	点灯	ピピピピピッを繰り返す	すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後で、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
E3	空だき状態	点灯	ピピピピピッを繰り返す	すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。10分程度冷ましてから再度ご利用ください。

仕様

電源	100V 50Hz/60Hz	
定格消費電力	500W	
製品寸法	製品	幅 146mm × 奥行 146mm × 高さ 144mm (蒸し皿除く)
	有効内寸	直径 123mm × 高さ 62mm (なべ) 直径 114mm × 高さ 50mm (蒸し皿)
質量	約 675g (電源コード含む、蒸し皿除く)	
容量	800mL	
加熱温度	40℃～100℃ (モードによる)	
タイマー	1分～180分 (モードによる)	
安全装置	サーモスタット、温度ヒューズ (290℃)	
電源コード	長さ約 1.5m	
主な材質	本体外装	PP
	なべ部	アルミ合金・フッ素樹脂コーティング
	ふた	強化ガラス
	ふた取っ手	PP
	ふたパッキン	シリコン
	蒸し皿	シリコン

ユーザーサポートについて

選べる! 充実サポート



LINE チャット
でサポート

LINEアプリから
友だち追加でかんたんに
チャットでお問い合わせ!



Web チャット
でサポート

ブラウザからでも
会員登録なしにお気軽
にご相談いただけます。



電話でサポート

エレコム製品サポートからカテゴリごとに「よくあるご質問」や「サポートコミュニティ」をご紹介します。電話によるサポートが必要な場合は、サポートダイヤルをご用意しております。

連絡先はコチラから
8056.jp

※LINEおよびLINEロゴは、LINE株式会社の登録商標です。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用によるお問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

保証規定

■保証期間

1年間

■保証対象

保証対象は本製品の本体・本製品の動作に起因する部分のみとさせていただきます。取扱説明書および消耗品は対象外です。

■保証内容

- 1 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます。）内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。
※保証期間を超過している場合、有償となります。

■無償保証範囲

- 2 以下の場合には、保証対象外となります。
 - (1) 購入証明書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
※購入証明書は、購入日、購入店、型番が確認できるもの（レシート・納品書など）を指します。
 - (2) 購入証明書に偽造・改変などが認められた場合。
 - (3) 中古品として本製品をご購入された場合。（リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む）
 - (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
 - (5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
 - (6) 通常一般家庭、一般オフィス内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動などにより故障した場合。
 - (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下などにより故障した場合。
 - (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
 - (9) 接続されている他の機器に起因して、本製品に故障、損傷が生じた場合。
 - (10) ソフトウェア（ファームウェア、ドライバ他）のアップデート作業によって故障、障害が生じた場合。
 - (11) 本製品の、パッケージ、取扱説明書、ならびに弊社ホームページ内などに記載の使用方法、および注意に反するお取り扱いによって生じた故障、損傷の場合。
 - (12) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■修理

- 3 修理のご依頼は、購入証明書をお買い上げ頂いた製品一式（付属品、セット品含む）に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。
- 4 弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。（返送時の送料は弊社が負担いたします。）また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段（宅配や簡易書留など）をご利用ください。なお、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
- 5 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。
- 6 保証期間内にて修理、交換により交換された、旧部品または旧製品などは返却いたしかねます。
- 7 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全是行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す前には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願いいたします。
- 8 修理期間中における代替機および貸出機のご用意はございません。

■免責事項

- 9 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為などの損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 10 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償などにつきましては、弊社は一切責任を負いかねます。
- 11 データを取扱う際には自己責任において、かならず定期的なバックアップを取ってください。本製品の故障または使用によって生じた、保存データの消失、破損などについては一切保証いたしません。

■有効範囲

- 12 この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。
エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応はいたしかねます。
This warranty is valid only in Japan. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan.

愛情点検		長年ご使用の多機能調理なべの点検を!	
	<p>こんな症状はありませんか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源を入れても、加熱しないときがある ●電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげ臭いにおいがする ●電源コードに破れがある ●本体や蒸し皿にひび割れがある ●その他の異常や故障がある 	▶	<p>ご使用中止</p> <p>事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。その後、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。</p>

Hot à la Pot (ホットラポット)

多機能調理なべ

HAC-HEP01 シリーズ

取扱説明書

2023年9月第2版

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- その他本書に記載されている会社名・製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。